

## 北区の避難所開設訓練

『医学研究所北野病院 第8回大規模災害対応訓練』

出務報告書

訓練日時…令和6年10月6日(日) 午前8時30分～  
 訓練場所…北野病院(北区扇町2-4-20)

中川内科クリニック 中川 清彦

大規模災害が8:40に発生したという想定で訓練が開始された。

病院内に院長を本部長とする【災害対策本部】が設置され、本部からの指示で職員が行動を行った。まず職員の被災状況、出勤等はBCPに沿って行われた。広域防災・救急医療情報システム(E.M.I.S)が立ち上げられ、職員被災状況、病院内電源等病院内インフラ被災状況、入院患者・外来患者被災状況が次々に本部の10台以上の白板に掲示された。同時に院内に水が入らないよう防水版設置も行われた。受傷し来院された被災者は、まず病院門前で一次トリアージを行い、クロノロジーに書き込まれ、軽症者は門前で治療、赤タックの重傷者は病院内において二次トリアージを行い院内での治療行うか、他施設に搬

送するか選択がされた。

一方、区役所からの避難所への救護班派遣の要請が、大阪市防災情報アプリを用いて北区医師会を通して北野病院に行うという訓練も行われた。北野病院のモニターにも大阪市防災情報アプリが映し出され情報が共有可能であった。医療チームを派遣するという決定はスムーズに行われた。院内連絡は主にトランシーバーとgoogleメールが使用された。

看護学生も含めた総勢300名の大規模訓練であったが、各自が真摯に向き合い、きびきびと行動し見事な訓練であった。実際の大規模災害ではこの訓練のようにスムーズの運用できるかはわからないが、このような訓練を積み重ねることによって、実際被災した時に落ち着いて行動できるようになっていけば良いと思った。

『令和6年度 大阪府済生会中津病院災害対策訓練』

出務報告書

訓練日時…令和6年11月30日(土) 午後3時〜  
 訓練場所…大阪府済生会中津病院(北区芝田2-10-39)

中川内科クリニック 中川 清彦

平日の日中に大阪市北部において震度6弱の地震が発生したとのことで訓練が行われた。地震発生後、院長を本部長とする、災害対策本部が設置され、各災害対応職員からそれぞれの指示がなされた。前半は、主に血液浄化センター(透析室)に被害があった(今回の訓練対象部署)想定で被害状況の確認、対応の処置等が行われた。後半では、主に外来患者さんの避難方法について卓上訓練が実施され、災害対策本部との情報の伝達、情報共有方法、人員の配置、物品の配置等の確認が行われ、それに伴い問題点が明確化された。

今回、90分であったが、本部長の院長先生はじめ各災害対策職員のみなさんが、的確に行動され情報を共有されていた。災害時に北区内で重要な役割をしてみらう大病院の訓練を見学させてもらい、頼もしく思った。それとともに、あらためて普段からの大災害に備える心構えが重要であることも感じた。



元本庄公設市場跡地(写真:北天満・中崎班)  
 大正八年に日本で最初に設立された公設市場であることの由来などが記されている。